

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産 業 建 設 常 任 委 員 会	会議場所 第2委員会室	
		担当職員 佐藤	
日 時	令和2年6月26日(金曜日)	開 議	午前 10 時 20 分
		閉 議	午後 1 時 12 分
出席委員	◎菱田、○赤坂、田中、小川、奥野、藤本、竹田、(齊藤議長)		
出席理事者	【産業観光部】吉村部長 [商工観光課]三宅課長、栗林観光担当課長		
出席事務局	佐藤主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者1名	議員0名

会 議 の 概 要

1 0 : 2 0

1 開議（菱田委員長あいさつ）

<菱田委員長>

最初に、先日の議案審査の際に、農林振興課長に「亀岡地域畜産クラスター協議会事業の地元同意が得られているかどうか」の報告依頼をしていた件であるが、「北ノ庄での地元説明会を行った際に、地元同意を得た」とのことであったので、報告させていただく。

2 事務局日程説明

[事務局主任より日程説明]

3 所管分付託議案審査（説明～質疑）

[産業観光部入室]

[産業観光部所管議案審査]

・産業観光部長あいさつ

(1) 第5号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算（第4号）所管分

・所管課長順次説明（歳出歳入一括）

1 0 : 2 9

[質疑]

<田中委員>

13ページの商工業振興対策経費について、クーポンちらしの配布をいつからするのか。

<商工観光課長>

クーポンちらしは7月15日から順次配布予定である。

<田中委員>

前回の出前でうちメシ応援キャンペーン時のちらしは、ほかのちらしと紛れて捨ててしまったという声があったので、今回はそのようなことがないようにしてほしい。

<商工観光課長>

前回は緊急対策ということで、広報が十分にできていなかった。今回は4月1日号

のおしらせから広報してきた。また、前回のちらしは、ちらしありきのクーポン券であったので、今回はクーポン券ありきのちらしを考えている。鳥山シティープロモーション担当室長にも確認をいただく中で作成を進めており、利用者目線でのちらしを考えている。

<田中委員>

商工業振興対策経費の業務委託料について説明を求める。

<商工観光課長>

シルバー人材センターにクーポンちらしの配布を委託するための経費である。

<竹田委員>

商工業振興対策経費について、組織や団体に加盟しておらず、また、参加する旨を表明していない事業所でも、客がクーポン券を使用すれば、亀岡市として、換金してあげることはいかないのか。

<商工観光課長>

組織や団体に加盟していない事業所からも、参加を募っている。ただ、参加をしないと言っておられる事業所もあるので、そこは参加を募って事業を進めることとしている。

<竹田委員>

積極的に働きかけていってほしい。

<小川委員>

商工業振興対策経費について、クーポンちらしの構想はできているのか。

<商工観光課長>

途中であるが、A4横サイズのクーポンとして、使える店舗名を印字する。店舗名を地域ごとに記載したものを別紙として配布する。

<小川委員>

出前でうちメシ応援キャンペーン時のちらしは、非常にわかりにくかったので、徹底的に改善をお願いする。

<竹田委員>

13ページの観光推進経費について、5,000円以上の泊まりまたは食事でも、2,500円の補助が出るのか。

<商工観光課観光担当課長>

そのとおりである。

<田中委員>

湯の花温泉観光旅館協同組合に入っている、旅館・ホテルは何社あるのか。

<商工観光課観光担当課長>

6社である。今回の補助は、ほん梅の里を含む7社が対象である。

<田中委員>

松園荘は再開しているのか。

<商工観光課観光担当課長>

6月20日から再開している。

<赤坂副委員長>

商工業振興対策経費について、詳細な説明を求める。

<商工観光課長>

そとメシ・お買い物応援キャンペーンについては、クーポン券は1,000円で、利用者は2,000円以上の飲食や買い物をする必要がある。

<赤坂副委員長>

金額が安いと思う。配布は30,000枚ぐらいか。

<商工観光課長>

36,000枚である。

<赤坂副委員長>

前回の1,000円の感覚で決めたのか。市長からのトップダウンでその額になったのか。

<商工観光課長>

この事業は、市民に協力いただくものである。きっかけとして、市民協力の上で事業者を応援しようとするものである。

<赤坂副委員長>

わかりやすいらしにしてもらいたい。各店舗が頑張らないといけないことはわかっておられるが、人が来ないのでどうしようもない。タクシーも乗ってもらえないので、連携した事業を実施してもらいたい。

観光推進経費について、旅行会社と提携したのか。

<商工観光課観光担当課長>

提携していない。

<赤坂副委員長>

提携したほうが、幅が広がるのではないか。

<商工観光課観光担当課長>

直接、旅館に申し込むので、今回はあえて旅行会社を通していない。広告については、京都府との宿泊キャンペーンと合わせて、京都府の予算で新聞に掲載していく。

<田中委員>

観光推進経費について、湯の花温泉観光旅館協同組合の補助金の使い道は。

<商工観光課観光担当課長>

湯の花温泉観光旅館協同組合で案分してもらう。

<商工観光課長>

湯の花温泉観光旅館協同組合に補助金を一旦出して、各旅館の実績に基づいて、組合に申請してもらう。

<田中委員>

実績とは何の実績なのか。

<産業観光部長>

旅館を利用してもらった実績に応じて清算をする。

<田中委員>

温泉スタンドは閉めているのか。

<商工観光課長>

3日間かけて配管清掃を行っていたため、その際は温泉スタンドを停止していた。

<菱田委員長>

観光推進経費について、補助金を出しっぱなしではなく、報告書を当然上げてもらうのか。

<産業観光部長>

そのとおりである。

10:47

[産業観光部退室]

[委員間討議] なし

4 討論～採決

〔討論〕 なし

〔採決〕

- ・ 第5号議案 令和2年度亀岡市一般会計補正予算（第4号）所管分
可決・全員

〔指摘要望事項等〕

< 竹田委員 >

委員長報告の中に、そとメシ・お買い物応援キャンペーンのクーポンちらしについて、多めに触れていただいて、しっかりと事業を進めるように意見を入れてほしい。

< 菱田委員長 >

そとメシ・お買い物応援キャンペーンについて、PRをしっかりとするように一言加えたいと思うがよいのか。

（了）

10：50

< 休憩 10：50～13：00 >

5 委員長報告の確認

（菱田委員長 委員長報告朗読）

< 菱田委員長 >

この内容でよいのか。

< 田中委員 >

補正予算の後に第何号を入れなくてよいのか。

< 菱田委員長 >

ほかの委員会と整合を図らせていただくことでよいのか。

（了）

6 議会だより原稿の確認

< 菱田委員長 >

各自で目を通していただきたい。

（各委員原稿確認）

< 菱田委員長 >

この内容でよいのか。

（了）

7 その他

（1）千代川乗船場からの保津川下り視察について

< 菱田委員長 >

赤坂副委員長から説明をお願いします。

< 赤坂副委員長 >

市長も行かれたので、委員会としても視察に行きたいと思う。ただ、体調面の不安

がある方については強制ではない。船は2隻出るが、途中降りて船を引っ張らなければならない箇所もあるため、無理のない範囲で参加していただければと思う。

<菱田委員長>

参加人数として、委員7名、議長、事務局2名、船頭1名ずつを考えている。また、ラフティング業者には議会費から謝礼を支出しようと考えている。委員会の視察として実施してよいか。

(了)

<菱田委員長>

日程はどうするか。

<赤坂副委員長>

月例の7月27日にしてはどうか。暑いので午前中に乗船したほうがいい。

<菱田委員長>

では、7月27日の午前中に、現地調査を実施し、午後から決算分科会を開催することとしてよいか。今時間を10時からにしているが、朝早いほうがよいので時間変更する場合は事務局からメールをする。

先ほど田中委員から質問のあった、委員長報告の中の補正予算第何号を入れてはどうかということだが、総務文教常任委員会、環境厚生常任委員会では入れるとのことであったので、産業建設常任委員会も入れることとする。

～散会 13:12